

園芸品目の研修施設整備による農業研修制度強化の取組

- JA秋田しんせいは秋田県由利本荘市とにかほ市を管轄としている。
- 農業生産者が高齢化・減少し、担い手の確保が重要な課題であることから、新規就農者の獲得を図るため研修農場の整備強化に取り組んだ。
- 先進的な栽培様式を導入したぶどう（シャインマスカット）とアスパラガスの研修農場を整備し、JAや県、地元農業生産者が連携した指導を行い、受け入れ体制を強化したことで、研修受講者数が年間平均2名以上増加した。

【位置図】



由利本荘市、にかほ市

取組前

- 農業生産者の高齢化が進むことを考えると、更なる担い手の確保は地域の重要な課題であった。
- 地域農業の担い手確保・育成と産地の拡大を図るため、平成27年より研修制度を整備し、園芸や畜産を主とした農業を営もうとする者を研修生として受け入れ、担い手の育成を行ってきた。
- 更なる新規就農者の獲得に向けて、より幅広い品目に対応した研修農場を整備し、研修体制を強化することが必要となっていた。

取組内容

- R4年度は、ハウス盛土式根圏制御栽培研修施設（ぶどう（シャインマスカット））を整備した。
- R5年度は、半促成アスパラガス柵板式高畝栽培研修施設を整備した。



取組後(成果)

- 研修施設整備前の研修生受け入れ人数は0.71人/年だったが、整備後は2.75人/年と1年間あたり平均2名以上の増加につながった。



【サポート体制】

企画・運営：JA
 技術指導：JA 営農指導員
 秋田県 普及指導員
 地元農業生産者

具体的な研修内容：

JAに常勤の指導員を配置し、JAと県由利地域振興局農業振興普及課が研修施設での栽培技術指導を行う。地元農業生産者が現地で研修生を受け入れ、実践研修として農作業実習を中心とした研修を実施する。また、県農業研修センター等が主催する研修を活用することで、研修内容の充実を図っている。

新規就農者や研修生の声

- 指導員の方が基礎から教えてくれるので、安心して取り組むことができる。学んだことをすぐに現場で試せるので自身の成長を実感できる。
- 研修を通してさまざまな農家を訪問できるので毎回新しい発見や刺激がある。また、人脈が広がっていくのがとても心強い。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4～5年度

【問合せ先】JA秋田しんせい 営農経済部 農業経営支援室
 TEL：0184-27-1601
 E-mail：solution@akita-shinsei.or.jp